

(作成年月日) 2024年7月20日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

当院におけるトレメリムマブ+デュルバルマブ併用療法とアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の比較について調べる後ろ向き研究

[研究の目的]

肝細胞癌患者さんに対して、抗がん剤治療であるトレメリムマブ+デュルバルマブ併用療法とアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の治療効果の差を調査することでより効果的な治療を得られるように役立てるため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

肝細胞癌と診断を受けた患者さんで2020年10月1日から2024年7月31日の間に、トレメリムマブ+デュルバルマブ併用療法またはアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法を実施された方

○利用する検体・情報

検体：なし

情報：年齢、性別、抗がん剤投与開始日、医師のカルテ記録から抗がん剤の投与による治療効果の判定、免疫有害事象の有無や症状を記録する。

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤師 北村朱理

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 薬剤部 北村朱理

電話 087-891-2315 FAX 087-891-2318